

平成27年度は「反転攻勢・信州創生予算」です。

平成27年度当初予算は、多くの災害に見舞われた昨年から機運を転じ、長野県が元気増進と地方創生に向かうべく、北陸新幹線の金沢延伸やリニア中央新幹線の建設、善光寺御開帳などの好機を活かした取り組みを積極的に進めています。また、「防災・減災対策の推進」、「人口定着・確かな暮らし実現に向けた施策の展開」、「信州の価値向上と発信」、

そして計画期間の折り返しを迎える「しあわせ信州創造プランの着実な推進」について力を入れて取り組んでまいります。県民の皆さまとともに目指す「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現のため、引き続き「明日への希望」と「暮らしの安心」がある長野県づくりに全力を尽くします。

長野県知事 阿部 守一



「昨年

【防災・減災対策の推進】
さまざまな災害を経験した教訓を活かし、
かけがえのない人の命を守り、
安全で安心して暮らせる長野県づくりを目指します。

観光客の安全対策の確保

●山岳遭難防止対策や救護体制の強化…………… 4,071万3千円

災害に強い体制づくり

●最悪な事態に陥ることを防ぐための「長野県強靱化計画」の策定…………… 157万3千円
●災害対応業務の迅速化・効率化を図るための
防災情報システムの構築…………… 8,626万1千円

強靱な基盤づくり

●火山防災シェルターの設置に対する助成制度の創設
●県有施設の耐震対策の推進…………… 62億9,199万8千円
●土砂災害警戒区域を指定するための基礎調査の推進… 1億7,406万円

地域の強い絆づくり

●地域防災の要である消防団員の充実・強化支援…………… 609万1千円
●高齢者や障がい者等を対象とした避難訓練、研修、
防災ボランティア活動等への支援…………… 211万5千円

「人口減少が大きな課題になっているけれど、
子育て世代が活躍し、子どもや高齢者も
安心して暮らせる県づくりに
取り組んでほしいわね。」

【人口定着・確かな暮らし実現に向けた施策の展開】
平成27年度に策定する「長野県人口定着・
確かな暮らし実現総合戦略」に先駆け、
「人口減少の抑制」と「人口減少を踏まえた
地域社会の維持・活性化」に向けた取り組みを進めます。

経済自立戦略

●未来の起業家育成と若者・女性の創業を支援…………… 1,578万2千円
●経営規模の拡大、付加価値の高い農産物の生産、革新的農業技術の
開発などを推進し、農業所得の向上を支援…………… 7,432万4千円
●子育て等により離職した女性の再就職を支援…………… 4,942万4千円

みんなで支える子育て安心戦略

●第3子以降の保育料軽減に対する支援…………… 3億877万2千円
●市町村と協働して妊娠から子育てまでの相談・支援体制を構築するため、
「信州母子保健推進センター」を設置…………… 208万9千円
●乳幼児等の医療にかかる経済的負担を軽減するため、
市町村が行う医療費の助成を支援…………… 46億447万7千円

未来を担う人材定着戦略

●移住・就業希望者に対して仕事と住まいの情報を一体的に提供するため
「楽園信州移住相談センター」を設置…………… 812万9千円
●子育て世代の女性や女子大生を対象とした
「しあわせ信州なでして移住アカデミー」を開催…………… 579万9千円
●一定期間、住宅やオフィス等の提供を行う「まちなか・おためしラボ」により、
首都圏等からのIT人材の移住・拠点設置を促進…………… 523万円

確かな暮らし実現戦略

●人口減少克服のため、民間企業等が提案する画期的な事業を全国から募
集・選定し、事業化を支援する「人口定着・確かな暮らし実現」戦略モデル事
業コンテストを実施…………… 5,000万円
●県内幹線バス路線の維持・確保のための「県有民営」による支援
…………… 3,800万円

「伝統、文化、健康長寿、そして人。
そうした長野県の強みを活かす
取り組みも進めてほしいわ。」

【信州の価値向上と発信】
「信州」の持つ価値をさらに向上させ、
統一感のあるブランドとして
引き続き発信していきます。

文化振興元年

心の豊かさを実感できる社会を実現
するため、「文化振興基金」を創設し、
平成27年度を「文化振興元年」と位
置付けます。



©大塚道治

国際関係再構築年

●「信州文化会館ネットワーク」を構
築し、共同制作、出前公演のほか
職員研修を実施…………… 878万3千円
●地域で守る伝統行事(芸能)の
継承を支援…………… 333万5千円
●「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」
を共催…………… 1億円

国際関係再構築年

●外国人情報発信員の設置等による「NAGANO」の観光魅力発信
…………… 2,604万6千円
●ミズーリ州との姉妹提携50周年という節目の年に、
ミズーリ州知事を長野に招き記念式典等を開催…………… 550万円
●学校、地域の学習支援者等と連携して、
外国籍等の子どもの学習を支援…………… 3,107万9千円

教育・人づくり(信州の未来を拓く人材育成)

【学力・体力の向上と多様な学びの推進】

●児童生徒の学力向上を図るため、家庭学習モデルの普及、
補充的学習サポートを実施…………… 539万3千円
●スーパーグローバルハイスクール指定校の運営や
高校生の留学を支援…………… 2億3,999万5千円
●児童生徒がふるさとに誇りと愛情を持ち大切に育む
「信州学」を推進…………… 115万4千円

【すべての子どもの学びの保障】

●スクールカウンセラーの配置を拡充し学校での相談体制を充実… 1億4,998万5千円
●「学校生活相談センター」を設置し、臨床心理士の配置や24時間電話対応
により児童生徒の悩みを解決する電話相談を充実…………… 1,182万8千円
●障がいの特性に応じた専門的な教育やセンター的機能の充実のため、
特別支援学校の自立活動担当教員を増員…………… 2億9,600万円

【高等教育の振興】

●新県立4年制大学の設立準備…………… 3億3,586万1千円
●産学官連携プラットフォーム「信州産学官ひとづくりコンソーシアム」を
構築し、長野県の将来を支える人材を育成…………… 255万6千円

【産業人材の育成】

●平成28年4月に開校する南信工科短期大学を建設… 13億2,771万1千円

信州ACE(エース)プロジェクト

県民一人ひとりの健康をさらに増進するため、生活習慣病の予防の基本となる
「運動(Action)」、「健診(Check)」、「食事(Eat)」の3分野に取り組む「信州
ACE(エース)プロジェクト」を本格的に推進します。

【Action(体を動かす)】

●インターバル散歩など効果的な運動手法の普及…………… 34万1千円
●市町村等のウォーキングイベントやオリジナル体操などの
取り組みの紹介・情報発信…………… 288万4千円

【Check(健診を受ける)】

●自己血圧測定の実施や住民の服薬指導など薬局の
健康情報拠点化を推進…………… 508万5千円
●働き盛りの人たちの健康の維持・増進のため、企業が行う
健康づくりのモデル的な取り組みを支援・普及…………… 180万円

【Eat(健康に食べる)】

●飲食店やコンビニエンスストア、社員食堂等における
健康づくり応援メニューの提供支援…………… 57万3千円
●今年4月に開設する「しあわせ信州食品開発センター」を拠点とした
健康長寿等をテーマとした食品の創出…………… 286万4千円

※掲載した事業のうち、国の経済対策による「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)」を活用した事業については、事業費の全部(または一部)を平成26年度2月補正予算(経済対策分)に計上しています。

平成26年度2月補正予算と
一体となった経済対策の実施

経済の好循環を確かなものとするため、切れ目ない経済対策を実施します。県が指定した商品や旅行券の割引販売などを行い、地域の消費を喚起するほか、国の経済対策のための交付金を最大限活用し、「人口定着・確かな暮らしの実現」に向けて先行実施してまいります。

●予算に関するお問い合わせは 総務部財政課まで ☎026(235)7039 平成27年度の当初予算の概要 [長野県 平成27年度予算](#) [検索](#)

統一地方選挙が行われます

4月12日(日) 長野県議会議員一般選挙の投票日

4月26日(日) 市町村長選挙・市町村議会議員選挙の投票日
(長野県内では、36の市町村で行われる予定です。)

投票日に予定がある方は、期日前投票をご利用ください。